

大阪市環境局からのお願い

ち か すい い ど みず 地下水（井戸水）は の 飲まないでください

地下水（井戸水）について

地下水とは、雨水が地下に浸透し、土の中の隙間に存在する水をいいます。

地下20～30mよりも浅い部分を通る地下水は、周辺環境の影響を受けやすく、きれいに見えていても、細菌や有害物質により汚染されている可能性があります。

そのため、大阪市では、飲み水には水道水をご利用いただき、地下水（井戸水）は飲まないようお願いしています。



地下水（井戸水）に含まれる有害物質について

大阪市内には、^ひ砒素や揮発性有機化合物などの有害物質が、環境基準を超える濃度で検出されている地下水（井戸水）があります。

また、有機フッ素化合物の一種である^{ピーフォス}PFOS及び^{ピーフォア}PFOAが、国の暫定的な目標値を超える濃度で検出されている地下水（井戸水）もあります。

（詳しくは裏面をご覧ください）

なお、これらの有害物質が検出されている地下水（井戸水）は、飲用に利用されていないことを確認していますので、健康被害が生じるおそれはありません。

お問合せ：大阪市環境局環境管理部環境管理課水環境保全グループ

住所：〒559-0034 大阪市住之江区南港北2-1-10 ATCビルO's棟南館5階

電話：06-6615-7984 ファックス：06-6615-7949

メール：ja0040@city.osaka.lg.jp

令和4年4月

ピーフォス ピーフォア PFOS・PFOAとは？

- ✓ PFOSは、ペルフルオロオクタンスルホン酸 (Per Fluoro Octane Sulfonic acid) の略称、PFOAは、ペルフルオロオクタン酸 (Per Fluoro Octanoic Acid) の略称で、いずれもフッ素を含む有機化合物の一種です。
- ✓ 撥水性と撥油性を併せ持つ特異な性質を有していることから、焦げ付かないフライパンや水をはじく衣服など、これまで様々な表面処理の用途に使用されてきました（なお、フライパンにPFOAはほとんど残存していないこと、また、フライパンを適切に使用した場合にはリスクがないことが確認されています）。
- ✓ 化学的に極めて安定性が高く、水溶性かつ不揮発性の物質であるため、環境中に放出された場合には河川等に移行しやすく、また難分解性のため、長期的に環境に残留すると考えられています。
- ✓ 人の健康への影響については、各国・各機関で知見が集積されつつあるものの、現時点において、発がん性等の毒性について国際的に統一された評価値はありません。
- ✓ 令和2年5月に、「人の健康の保護に関連する物質ではあるが、公共用水域等における検出状況等からみて、直ちに環境基準とはせず、引き続き知見の集積に努めるべきもの」に指定され、河川や地下水などにおける暫定的な目標値（指針値）が設定されました。
- ✓ PFOS及びPFOAに関する情報はこちらからご確認いただけます。
大阪市「有機フッ素化合物（PFOS、PFOAなど）について」
<https://www.city.osaka.lg.jp/kankyo/page/0000541388.html>



大阪市の取組みについて

大阪市では、環境基準を超えている地下水（井戸水）に加えて、PFOS及びPFOAの濃度が国の暫定的な目標値を超えている地下水（井戸水）についても、継続して調査を行い、濃度の推移を監視しています。

お願い

大阪市では井戸に関する情報を集めています。
現在ご利用中の井戸をお持ちの方は下記お問合せ先までお知らせください。



お問合せ：大阪市環境局環境管理部環境管理課水環境保全グループ

住所：〒559-0034 大阪市住之江区南港北2-1-10 ATCビルO's棟南館5階
電話：06-6615-7984 ファックス：06-6615-7949
メール：ja0040@city.osaka.lg.jp